



朝五中だより

平成29年10月2日発行

朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>

TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail 5chuu@asaka-c.ed.jp

読書週間

校長 土橋 徹嘉

先月は市や地区の英語弁論暗唱大会、生徒会役員選挙、交通安全教室等、多くの取組がありました。今月も朝霞地区新人体育大会、進路説明会、三小会場のふれあい祭、薬物乱用防止教室、合唱コンクールがあり、生徒の活躍を楽しみにしているところです。来月に、例年実施している学校評価のアンケートについて保護者の皆様のご協力をいただきます。是非、各行事や月末の学校公開週間をご参観くださいますようお願いいたします。

今月十日は、〔10 10〕を横に倒すと眉と目の形になることから、目の日とされています。以前、発想の幅を広げる「3つの目」について聞いたことがあります。それは、見るべきものに対して、直接に細部まできちんと見極めて確かめる目、高い所から広範囲まで視野を広げてその全体像を把握する目、時間や世の中の流れを感じたり読み取ったりして現時点と先を見通す目、いわゆる虫の目、鳥の目、魚の目です。

先日、技術科の夏休みの課題作品の中から発明創意工夫展に出品した作品がよい評価を得ました。譜面台の利便性を向上させたものなど、いずれの作品も目の付け所が素晴らしいと思ったところです。また、本県の学力・学習状況調査結果（3年間の伸びをグラフで示した個票）を返却しましたが、昨年度との比較で伸びた生徒が多くいました。しかし、三年間の推移で見ると課題も見られます。結果分析の視点についても多角的であるべきだと思います。なお、学校でも引き続き調査結果を分析し、指導法の工夫・改善に努めてまいります。併せて、生徒には個票を参考に、学習の進め方を見直して欲しいと思います。

さて、本校では朝8時25分になると本のページをめくる静かな教室の風景があります。朝読書の時間は、千葉県のある女子高校で「毎日やる、好きな本でよい、ただ読むだけ」の約束事のみが取組が一気に広まり、全国の多くの小・中・高等学校で実践されています。私は、少し前に「とりかえばや物語」を読みましたが、映画の「転校生」や昨年度ヒットした「君の名は」のように二人の人間が取り変わる話の平安時代にも存在していたことに興味を抱きました。読書は新たな発見や楽しみを与えてくれます。全国学力・学習状況調査の質問紙で「読書は好きですか」の問いに、肯定的に捉えてる本校の生徒は全国平均を10ポイント程上回り約80%でした。

今月27日から11月9日の期間は全国読書週間です。図書委員や先生が推薦する書籍



【朝読書の風景】

の紹介やスタンプラリーの取組により学校図書館（図書室）に足を運ぶ生徒が増えたり、好みの本が増えたりする生徒もいます。学校図書館では定期的に本を購入しており、年間四百冊程になります。読書は豊かな感性や情操をはぐくむとともに、知的活動を増進させ、生涯にわたる自己啓発の契機になります。楽しみながら新たな知識を得たり、ものを見る視点が広がったり、時代を超えた面白さを感じたりするなど豊かな目を養える機会です。これからも未知の素晴らしい本に出会えることを楽しみにしたいものです。